

**芳賀町都市交通マスタープラン及び都市・地域総合交通戦略（改定案）に関する
パブリックコメントの実施結果について**

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間
- (2) 意見の応募者数 1人（意見数5件）
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	FAX	Eメール	持参	計
人数	0人	0人	1人	0人	1人

2 意見の概要と町の考え方

	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	幹線バスの再編について 住んでいる地域によって、芳賀と清原のトランジットセンターまでの距離が違うので、広域的に考えたルートでの再編をしてほしい。また、運行本数が少ないと利用されず、さらに本数が減少するといった悪循環が発生し、路線の維持が難しくなるため本数を平等にしてほしい。	バス路線の再編につきましては、周辺市町や交通事業者、関係機関と連携し「地域公共交通利便増進実施計画」の策定を進めております。その中で、運行ルートや運行本数、新規路線の設定などを検討し、持続可能な利便性の高い公共交通ネットワークとなるよう取り組んでまいります。
	工業団地循環バスの導入 近隣の住宅地から通勤している人も多いと考えられるので、祖陽が丘や和泉ニュータウンをはじめ、町内の住宅団地から工業団地へ循環するバスを朝夕に運行するとより便利になると思う。	循環バスにつきましては、工業団地のバス空白地域の解消やLRT利用者の二次交通として導入を検討しています。町内の住宅団地につきましては、バス路線の再編において、各種交通との乗り換え施設であるトランジットセンターへの接続を検討しております。
3	ひばりタクシーのサービス改善について 運行範囲が狭いことや利用時間が限られていること、予約をしなければならないことなどの点が利用しにくく、利用者の減少につながっていると思われる。循環バスの方が利便性や定時性あるのでニーズに合っているのではないか。	ひばりタクシーにつきましては、運行ルートを固定せず公共交通空白地域をカバーできるフルデマンド型で運行しております。 運行の時間帯につきましては、主に家族が不在になる日中の時間帯をカバーできるように設定しており、また、ドアツードアで移動負担が少ないことから、現在の運行形態が適していると考えております。

	意見の概要	意見に対する町の考え方
	わかりやすい公共交通情報の提供について	
4	<p>バス路線マップの作成や配布等を行うようだが、バスがいつくるのか、どのくらいかかるのかが分からず利用しない人が多いと思われる。芳賀町内および周辺市町の最寄りのバス停の時刻表やバス路線のマップを各世帯に配布する必要があるのではないか。</p>	<p>バス路線マップにつきましては、町内外の公共施設や鉄道駅、道の駅などに配布し設置していただいております。ご指摘のとおり、必要な時に必要な情報が簡単に入手できることが重要であると考えておりますので、ホームページに時刻表を掲載するなど、分かりやすく使いやすい情報の提供方法を検討してまいります。</p>
	ICカードの導入	
5	<p>ICカードが導入されたが、モバイルSuicaなどのスマートフォンが主流になりプラスチックカードを発行するのは、時代遅れな感じがする。今後、町独自の割引制度や、全国初の地域連携ICカードモバイル版を作る等の工夫が必要と思われる。</p>	<p>地域連携ICカード「totra（トトラ）」は、公共交通の乗り継ぎ円滑化や利便性向上を図るため、LRTや路線バス、鉄道などで利用できる交通系ICカードとして導入いたしました。</p> <p>今後は、多くの町民の方に公共交通をご利用いただけるよう、トトラの普及促進を図るとともに、町独自の割引制度などを含め、様々な交通サービスが展開できるよう推進してまいります。</p>